

4 その他（報告事項）

（1）夜間景観について

- ・東京都では、東京都景観計画の変更、公共施設等のライトアップ基本方針の策定など、夜間景観の取り組みを開始したところである。
- ・一方、板橋区では、景観計画の景観形成基準において、住宅地や商店街における照明の配慮事項として、夜間景観に関する記載をしている。

●東京都景観計画の変更（平成 30 年 8 月 9 日）

- ・夜間における景観の形成に関する方針を追加
⇒別紙「東京都景観計画の変更（概要）」参照

●公共施設等のライトアップ基本方針（平成 30 年 3 月東京都策定）

- ・東京都では、東京の魅力を高めるため、東京 2020 大会、さらに大会後も引き続き、夜間景観に磨きをかけていくこと、東京の夜間景観の大きな要素を占める公共施設からライトアップを先行して実施し、民間施設へ波及させていくことを目的として、「公共施設等のライトアップ基本方針」を策定した。
⇒別紙「公共施設等のライトアップ基本方針（概要）」参照

●板橋区景観計画の景観形成基準（該当部分を抜粋）

◇周辺の土地利用に配慮した照明

- ・住宅地内及びその周辺では、点滅する光源や色の変化など、過度な照明は避けるように努める。

◇夜間照明の配慮

- ・商店街において、一階部分に店舗・事務所等を配置する場合は、夜間に暗くならないようライトアップするなど、夜間景観に配慮した形態・意匠とする。

⇒別冊「板橋区景観計画 第 4 章 4.2 一般地域における良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項」P.4-5 参照

(2) 平成 30 年度いたばし景観写真展

①板橋宿不動通りと江戸四宿

⇒別紙「平成 30 年度いたばし景観写真展資料（板橋宿不動通りと江戸四宿）」
参照

- 日時：平成 31 年 2 月 18 日（月）から 2 月 22 日（金）まで
- 場所：本庁舎 1 階区民イベントスペース
- 展示内容
 - ・板橋宿不動通り地区景観まちづくりの取組 P R パネル
 - ・江戸四宿紹介パネル（板橋宿、品川宿、千住宿、内藤新宿）
 - ・各宿関連の観光パンフレット等
 - ・板橋宿ゆかりの切り絵作家の作品
 - ・勉強会の成果としてのバナーフラッグ
 - ・花の湯の鬼瓦、懸魚（げぎょ）の実物展示

②板橋崖線（いたばしがいせん）

⇒別紙「平成 30 年度いたばし景観写真展資料（板橋崖線）」参照

- 日時：平成 31 年 3 月 11 日（月）から 3 月 27 日（水）まで
- 場所：赤塚支所 1 階ギャラリー
- 展示内容
 - ・航空写真パネル
 - ・崖線紹介パネル（崖線とは、崖線の特徴、板橋区景観計画、景観重要公共施設と景観重要建造物、生産緑地、崖線の今昔、コミュニティバス「りんりん号」、観光関連）
 - ・板橋崖線関連の観光パンフレット等

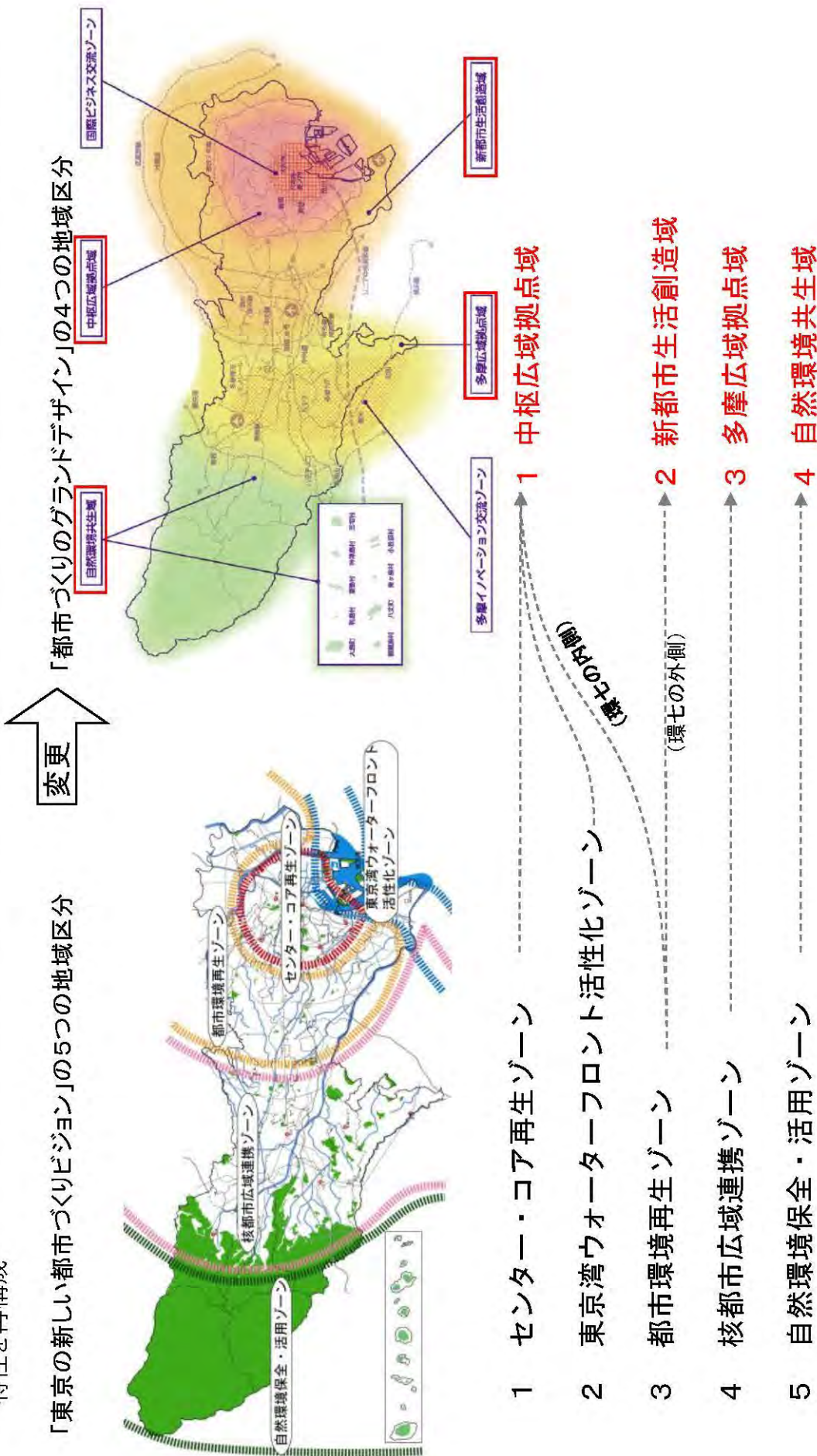
【参考】

- 東京都景観計画の変更（概要）
- 公共施設等のライトアップ基本方針（概要）
- 平成 30 年度いたばし景観写真展資料
 - ・ 板橋宿不動通りと江戸四宿
 - ・ 板橋崖線（いたばしがいせん）

東京都景観計画の変更《概要》

1 第1章第2「東京の景観特性」の再構成

- 「都市づくりのグランドデザイン」(平成29年9月策定)を踏まえ、「東京の新しい都市づくりビジョン」の地域区分で構成されていた東京の景観特性を再構成



2 第1章第5「夜間における景観の形成に関する方針」の追加

- ・ 夜間における景観の形成に関する方針を追加

多様な地域が共存し連担する東京ならではの夜間景観と良質な光の誘導を図るため、以下に夜間における景観の形成に関する方針を示し、東京の魅力を更に高めていく。

方針1

ダイナミックな都市構造を光で表現

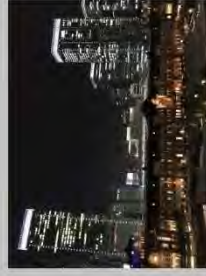
- ・都市活動の象徴でもある高層ビルが集積した拠点や主要な道路、河川、運河などを、光のヒエラルキーをつけて表出させる。
- ・品格や落ち着きを持った明るさを抑制すべき地区、夜のにぎわいや活気を演出する地区など、地域特性を踏まえた照明によりメリハリをつける。



方針2

地域の個性を生かした夜間景観の形成

- ・地域の景観特性に応じた照明により、個性をいかしていく。
- ・個性ある地域の夜景を回遊して楽しめめるよう、光を点から線、面へと繋げ、連続性のある夜間景観を形成する。
- ・東京の歴史や文化、地形や自然などの景観資源を引き立たせる照明を行う。



方針3

光の質の向上

- ・まぶしく不快な光の抑制や演色性の配慮など、光の質を向上し、快適な光環境をつくる。
- ・光と影を効果的に使ったメリハリの演出により、印象に残る美しい夜間景観を創出
- ・必要な場所に光をあて過度な照明は抑制するなど、少ないエネルギーで効果的な照明
- ・省エネルギー器具の採用や自然エネルギーの活用により、環境に配慮した照明



3 第2章第3「景観重要公共施設」の追加

- ・ 景観重要都市公園に、「水元公園」「小金井公園」を追加



水元公園



小金井公園



4 第3章第1 2「大規模建築物等景観形成指針」の変更

(1) 大規模建築物等景観形成指針に「夜間照明」に関する事項と、屋外広告物のただし書き規定を追加

夜間 照明	<ul style="list-style-type: none"> □ 広場などの公開空地や歩行者通路などパブリックスペースの光を、点から線、線から面につなげ、周辺の道路などの公共施設も含めて連続性や一体感のある光の空間を整備する。 □ 照明の目的と周辺環境に応じて、適切な照度(水平面・鉛直面)、輝度、色温度、演色性の照明を使用し、光の質の向上を図る。 □ 敷地内に歴史的な遺構やシンボリックな樹木などの景観資源がある場合は、それらを効果的に演出する照明を行う。また、周辺にライトアップされた景観資源がある場合は相互関係に配慮する。 □ 間接照明の使用など光と影を効果的に用い、陰影に富んだ美しい空間を整備する。 □ 建築物の高層部では色や過度な動きによる演出を避ける。ただし、地域のガイドライン等で定めがある場合やイベント時は、この限りでない。演出を行う場合は、周辺との調和に配慮するとともに、地域の魅力向上に寄与する効果的な照明とする。 □ 省エネルギーに配慮するため、LED照明又は同等以上の環境性能を持つ器具を使用する。また、オフィス等の窓面の内側からの過度な漏れ光を抑制する。
----------	---

(2) 文化財庭園等の眺望の保全に関する景観誘導区域に、「向島百花園」「旧安田庭園」を追加



景観誘導区域(青線)内は、大規模建築物の事前協議制度により、眺望地点からのシミュレーション図を作成し庭園内からの見え方を協議

(3) 皇居周辺の風格ある景観誘導の主要な眺望点に「東京駅丸の内駅前広場」を追加

公共施設等のライトアップ基本方針（概要）

1 目的

- 東京の魅力を高めるため、東京2020大会、さらに大会後も引き続き、夜間景観に磨きをかけていく
- 東京の夜間景観の大きな要素を占める公共施設からライトアップを先行して実施し、民間施設へ波及させていく

2 対象施設

都有施設

- 【公共建築物】 文化施設（博物館等）、歴史的建造物、大学、市場、庁舎、スポーツ施設
 - 【インフラ】 道路、橋梁、河川、鉄軌道駅・鉄道橋、港湾・海岸施設、公園・庭園、空港・ターミナル
- ※国・区市の公共施設や公共性の高い鉄道駅等の民間施設に協力依頼
※ライトアップの対象施設は、施設や地域の特性を踏まえて検討

3 課題

- 「光害」の影響
 - ⇒ 漏れ光による居住者の安眠阻害、歩行者への不快なグレア
 - ⇒ 昆虫や植物の光合成などの生態と夜空の明るさへの影響
- 省エネルギー化・再生可能エネルギーの利用
 - ⇒ 照明施設のイニシャルコストとランニングコストを抑える配慮が必要（→LED化や再生可能エネルギーの積極的な採用）
- 地域環境への配慮
 - ⇒ 地域性や都市構造と密接した夜景への配慮（繁華街、住宅地等）
 - ⇒ ライトアップ施設の周辺住民等への配慮
- ライトアップの効果検証
 - ⇒ 事業コスト削減の努力と可能な手法で効果検証を実施
- 観光資源としての夜間景観
 - ⇒ 観光資源としての更なる活用

4 基本的な考え方

《目標》

- 【短期】東京2020大会までに、東京を代表するエリアの夜間景観の向上
- 【中長期】夜間景観の向上に取り組みエリアの充実・順次拡大（2020年～2040年）

《コンセプト》

コンセプトI 光環境の整備

⇒ 照明設備を新設・更新する際、光害や省エネルギーに配慮した照明を整備

《光環境に配慮した事例》

- ・眩しい光を極力抑えた適切な遮光性能を有する器具を使用
- ・外からの光が有害な影響を及ぼさないよう、上方に無駄な光を拡散させない

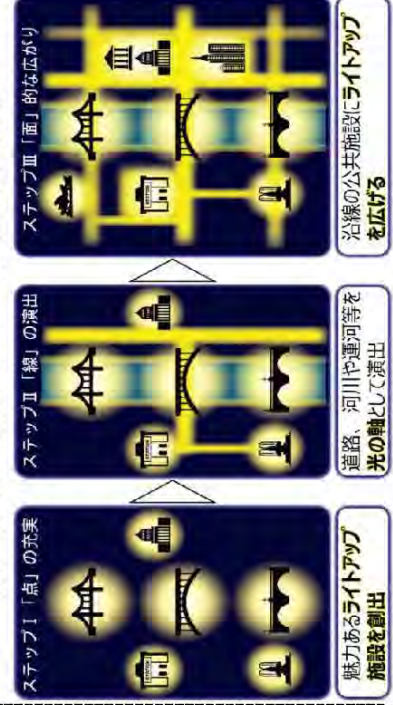


コンセプトII みられる光の計画的な創出

⇒ 「点」から「線」、「面」に光を連続

《ライトアップに適する公共施設の例》

- ・構造的にしっかりといて、希少性がある施設
- ・地域のランドマークとなっている施設
- ・歴史的・文化的に有名な施設
- ・景観上重要な道路、交通拠点施設（鉄道駅）



沿線の公共施設にライトアップを広げる

道路、河川や運河等を光の軸として演出

魅力あるライトアップ施設を創出

5 事業の推進方策

○ 重点エリアの設定

「重点エリア」として、当面3か所設定

⇒公共施設のライトアップを重点的かつ一体的に進めるエリア

《重点エリア設定の考え方》

- ☆ 東京の顔として発信力が高いエリア
- ☆ 東京を象徴する歴史・文化や水辺・緑が感じられるエリア
- ☆ 東京2020大会に向けて、国内外からの注目度が高まるエリア



赤坂・外苑 周辺エリア

- ・東京2020大会に向けて、国内外からの注目度が高まるエリア
- ・ライトアップを実施している歴史的な建造物が存在

隅田川・臨海部エリア

- ・東京2020大会施設等が集積するエリア
- ・浅草から臨海副都心のエリアは丹波観光スポット
- ・東京港の運河や臨海地域では、都市施設と一体となった夜景スポットが存在

○ 重点エリアにおける取組

重点エリア内において、現時点で取組を実施 又は検討している施設を示す。

隅田川・臨海部エリア

【隅田川地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・隅田川を「光の軸」とし、隅田川橋梁群等ライトアップ拡大とテラス照明整備の推進
- ・隅田川沿いの公園や公共建築物等のライトアップを促進し、光を面的に展開
- ・ライトアップ施設と周辺集客施設のタイアップにより、水辺の賑わいを創出

＜主なライトアップ施設＞

柳橋、桜橋、隅田川テラス、豊海橋、高橋、南高橋、新大橋、高年橋、中央大橋、湊橋、新亀島橋、西仲橋、石川島灯台モニュメント
隅田川テラス、隅田川橋梁（東武鉄道）、吾妻橋、駒形橋、既橋、蔵前橋、蒲洲橋、永代橋、佃大橋、勝岡橋、築地大橋

【勝どき・晴海・豊洲・臨海副都心地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河を渡る橋梁のライトアップ整備の促進
- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を今後整理

＜主なライトアップ施設＞

臨海副都心のアウェアネスカラー、東京ビッグサイト、晴海客船ターミナル、シンボルプロムナード公園の大橋、お台場海浜公園、桜川橋、豊洲大橋

■ 実施済みの施設 ⇒ 平成28年度までに実施された施設を対象(イベント除く) ■ H32年度までに実施予定の施設



※ライトアップイメージ



※イメージ

隅田川・臨海部エリア

【芝浦・日の出・品川・天王洲地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を整理
- ・日の出の頭の上屋や芝浦地区の水門等のライトアップを推進
- ・芝浦運河や高浜運河等に架かる橋梁等のライトアップを促進
- ・運河沿いの大規模再開発などと連携し、公共施設のライトアップを促進
- ・目黒川に架かる橋梁や護岸のライトアップを促進

＜主なライトアップ施設＞

レインボーブリッジ、竹芝客船ターミナル、天王洲アイル
 日の出の頭（上屋等）プラタナス公園、汐彩橋、新芝橋、若橋、御橋橋、浜路橋、目黒川に
 架かる橋梁や護岸（対象施設を調整中）、運河エリア芝浦地区（仮称）芝浦一丁目計画等）、運河工
 リア天王洲地区（水門等）
 若菜橋、浦島橋、末広橋、新芝浦橋、香取橋付近、港南公園D、港南公園C、港
 南緑水公園、高浜公園、品川駅港南ふれあい広場、新港南橋付近、新実海橋
 浜離宮恩賜公園、田町西口デッキ、田町東口デッキ、鹿島橋、雷橋、竹芝橋、船路橋、百代
 橋、夕照橋、芝浦橋、築水橋、香取橋

【大井地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を今後整理
- ・運河に架かる橋梁のライトアップ整備の促進
- ・大井驛馬場のライトアップ整備の推進

＜主なライトアップ施設＞

大井驛馬場、京浜運河に架かる橋梁（対象施設を調整中）
 京浜運河沿いの整備

■ 実施済みの施設 ⇒ 平成25年度末までに実施された施設を対象（イベント除く）

■ H32年度までに実施予定の施設



竹芝客船ターミナル



天王洲アイル

東京駅・皇居周辺エリア

【東京駅及び皇居周辺】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・日本橋川沿いの大規模再開発等で、整備する公共施設のライトアップの促進
- ・皇居前広場等のライトアップの整備促進
- ・皇居周辺の公共施設のオープンスペースを利用したライトアップの促進
- ・希少動植物の存在が確認されている箇所は、ライトアップを控える

＜主なライトアップ施設＞

法務省日本館、国会議事堂、丸の内仲通り、東京国際フォーラム、和田倉噴水公園、
 東京駅
 最高裁判所、旧江戸城外役田門、和田倉橋、皇居前広場、行幸通り
 日本橋一丁目中地区、日比谷公園、日比谷公会堂

赤坂・外苑周辺エリア

【赤坂及び外苑周辺】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・イベントにあわせた街路樹等のライトアップの推進
- ・迎賓館前にぎわい空間の創出と連携した道路等のライトアップの推進

＜主なライトアップ施設＞

迎賓館赤坂離宮（夜間公開時）、イチョウ並木通り、特別都道外濠環状線

■ H32年度以降に実施予定の施設

■ 今後検討が想定される施設



丸の内内仲通り



東京駅

○「照明デザイン計画」の作成

- ・効果的なライトアップを行うため、施設管理者等は、必要に応じ、照明デザイン計画を作成

○ 社会実験等による周辺環境への影響の把握

- ・施設のライトアップに際し、周辺環境への影響が懸念される場合、説明会や社会実験等を実施

○ 民間都市開発と連携したエリアの光環境の向上

- ・民間開発者が大規模開発を行う場合、東京都景観計画に基づき、周辺と調和したライトアップ施設を設けるように要請

○ 施設のライトアップ補助制度

- ・都内の建造物を保有する民間事業者、区市町村等が補助対象者となり、個々の施設のライトアップ経費の一部を補助

(平成29年度から、産業労働局が「建造物のライトアップ事業費補助金」を実施)



東武スカイツリーライン 隅田川橋梁ライトアップ事業
(提供:東武鉄道株式会社)

○ 都市観光施策等との連携

- ・水辺を活かした観光を促進するために、舟運の活用や民間による河川空間の利活用を推進
- ・テラス照明の設置や沿川施設のライトアップを行うことで、水辺のにぎわいづくりを促進



夜景クルーズ

○ 施設管理者以外の第三者によるライトアップの参加促進

- ・地域のまちづくり団体やイベント事業者等、施設管理者以外の第三者が、ライトアップに参加できるような環境整備を進める

○ 公共施設間の「光の調整」

- ・実施スケジュールを踏まえながら、必要に応じ、「関係者間の連絡会」を設置し、近接する公共施設間の光の調整を図っていく

平成三十年度いたばし景観写真展

板橋宿不動通り 江戸四宿

と

平成31年

2月18日(月)から2月22日(金)まで

区役所1階 区民イベントスペース
(8時30分～17時)

主催：都市整備部 都市計画課 都市景観担当 Tel：03-3579-2549

協力：板橋宿不動通り商店街振興組合、教育委員会事務局生涯学習課、品川区、足立区、新宿区

板橋区文化芸術振興計画2020 個別計画事業

■ 展示の様子



■板橋宿不動通り地区景観まちづくりの取組 P Rパネル



■江戸四宿紹介パネルと観光パンフレット等（1）

・板橋宿



・品川宿



■江戸四宿紹介パネルと観光パンフレット等（2）

・千住宿



・内藤新宿



■板橋宿ゆかりの切り絵作家の作品



■勉強会の成果としてのバナーフラッグ



■ 花の湯の鬼瓦、懸魚（げぎよ）の実物展示



いたばし景観写真展

いたばし
がいせん

板橋崖線

武蔵野台地と荒川低地による起伏に富んだ景観「板橋崖線」
そこに暮らす人々の営み、歴史、文化を今に伝える

平成 31 年

3月11日(月)から 3月27日(水)まで

赤塚支所 1 F (8:30 ~ 21:30)
※初日のみ 13時から

主催：都市整備部 都市計画課
協力：土木部 みどりと公園課

■ 展示の様子



■ 航空写真パネル



■ 崖線紹介パネル（２）

・ 生産緑地



・ 崖線の今昔



・ コミュニティバス「りんりん号」、観光関連

